



かなさき しげき
金崎 茂樹 教授

〃 出身地と名物など
大阪府貝塚市
ガッチョの唐揚げ? 〃

専門分野

英語文学

Q 担当科目を教えてください。

A

【 英語文学研究 】

英語で書かれた文学の特徴を学んでいきます。主に小説が中心ですが、メディアミックスも視野に入れ、映画や絵画、マンガ、アニメなどのさまざまなプラットフォームやコンテンツを織り交ぜながら毎回定めたテーマやトピックに応じて考察していきます。

【 Extensive Reading 3・4 】

Extensive Readingとは「多読」のことでたくさんの英語に触れる授業です。といっても難しい英文ではなく、多読3原則(①英語のまま理解する②理解度7割～9割で読む③自分に合った本を読む)に沿いつつ、自分流にカスタマイズした読書を進めていきます。語数が少ない絵本などから始めてもらって構いません。とにかく楽しみながら英語スキルを上げていきましょう。

Q 専門分野に関する研究テーマの魅力を教えてください。

A

主に英語圏の恐いお話を研究しています。そもそも小さい頃から、SFやファンタジーなど、どこか不思議な物語に惹かれてきました。突き詰めれば、自分も含めて人はどうしてそのようなお話に魅了され受容しそして何らかのリアクションをするのか、そのダイナミズムを解き明かしたいのかもしれませんが、一つの作品をじっくり詳しく研究するというスタイルも好きですが、どちらかというと、ある事例(「ミイラが出てくるお話」「自分とそっくりさんが登場するお話」など)を共有する複数のコンテンツ群を比較して、その特質や各作品の違いなどを検証する方が自分としてはしっくりきます。

Q

先生の人となりをお教えてください。

A

「今だから言える先生の学生時代のエピソードは？」

美術系サークルに所属し、古着屋と古本屋と中古レコード屋を物色する、ある意味エコな大学生でした。

「人生(とまでいかないまでもここ数年)で一番「緊張」した時」

茶道裏千家の坐亡齋お家元による神戸三宮にある生田神社での献茶式のあと、お家元や現在の丹心齋若宗匠へ濃茶手前をさせていただきました。いろんな偶然が重なり抜擢された時は驚きつつ、本番まで一瞬空いている時間はエアで練習一瞬緊張感が続いていました。無事終わってみると脱力感に浸る状態でしたが、今となっては光栄な体験ができていい思い出となりました。

「お休みの日には何をされていますか？」

なんとかかろうじて細々とながら何十年も続けているのが茶道と釣りです。茶道は月2回ペースで週末にお稽古に通っていますが、その後の街巡りや食べ歩きが楽しいかも。釣りは、自分で操船して明石海峡大橋直下でジギングや、日本海の河川での本流・清流・溪流釣りなどしてきましたが、最近はこちら深夜に近所の海辺を徘徊して生態調査(?)をしています。たまに猫吸い。

Q

学生のみなさんへメッセージを！

A

人生のどの時よりも大学時代は自由に使える時間があると思います。好奇心たくましくいろんなことにアンテナを張って、それでもじっくり考えつつ、これぞと思ったことにチャレンジしてください。